

<申請時> 中小企業DX支援事業 2026年4月~2027年3月実施予定 ((公財) ひろしま産業振興機構)

<事業計画申請時>

【課題】

●AI、IoTなどのデジタル技術の導入は、イノベーションを加速させる重要な要素であり、ものづくり中小企業においても、取組が注目されている。
 ●全社的にデジタル化推進に関するビジョン・ロードマップを定めている企業は約4割に留まっており、課題として「従業員の知識・理解不足」や「人材不足」等の人材面での課題が浮き彫りとなっており、人材の育成や確保が重要となっている。

【目的】

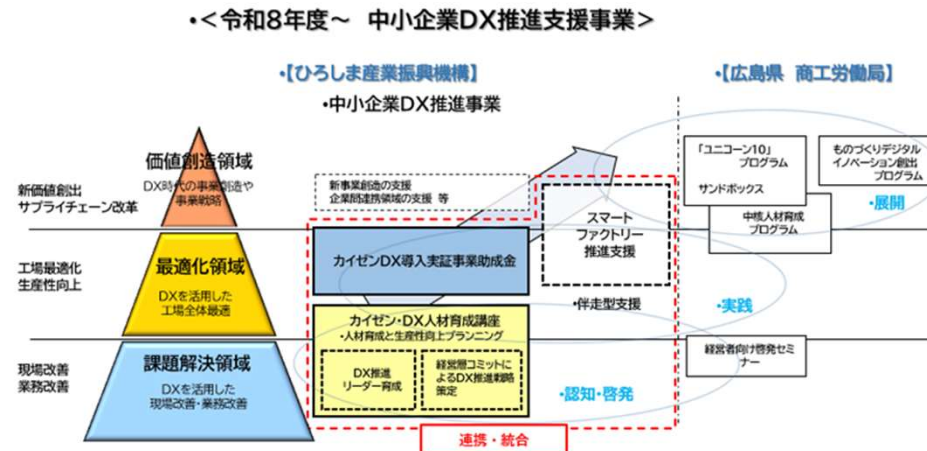
●「課題解決領域」から「最適化領域」のレイヤーにわたり、人材育成等の一連の支援を県内の中核的な産業支援機関である本財団が主催して取り組むことで、ものづくり中小企業のIoT等デジタル技術活用を促進。
 また、スマートファクトリー推進事業との連携を図ることで、将来的な「価値創造領域」のレイヤーへの到達に寄与。

【都道府県の施策との連携・親和性】

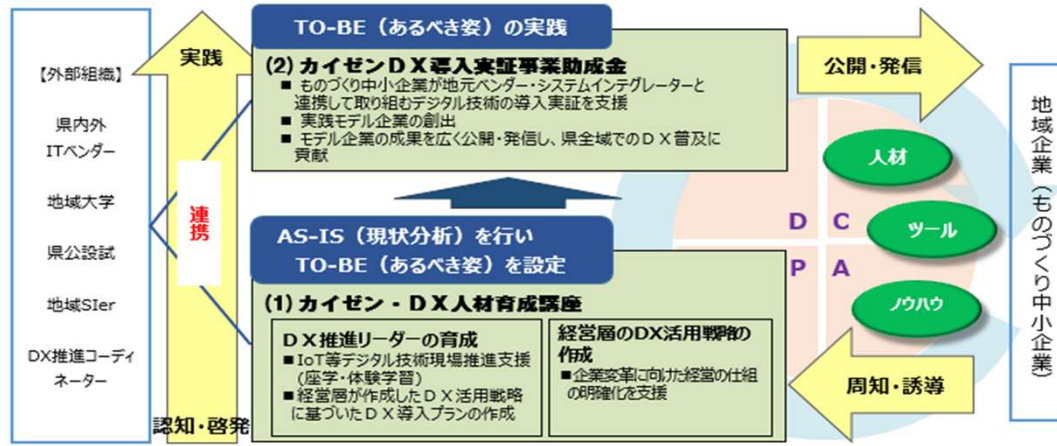
●広島県では、イノベーション立県の実現を施策ビジョンとして掲げており、その柱の一つとして、絶え間なくイノベーションが創出される環境・状況「イノベーション・エコシステム」の構築を目指している。
 ●加えて、すべての施策を貫く視点としてDXの推進に取り組んでいる。

✓ 地域課題解決の取組や複数の地域支援機関の相互連携強化等の取組に該当する場合は、チェック ✓ してください。

【中小企業DX推進支援事業】



【令和8年度本事業の内容(人材育成)】



- カイゼン・DX人材育成講座において、DX推進のコアとなる人材を育成した上で、現状分析(AS-IS)を行うとともに、「経営層コミットによるDX活用戦略」及び「DX導入プラン」(あるべき姿(TO-BE))を作成
- カイゼンDX導入実証事業助成金であるべき姿(TO-BE)を実践
- 本事業の成果を地域のものづくり中小企業に公開・発信することにより、本事業への参加とDXへの取組を促し、これら一連の事業のPDCAを回す

【結果ならびに成果の目標】

●本事業を通じて、13件の実績を目指す。
 ・人材育成講座：10名・社
 ・導入実証事業助成金：3件
 ●受講企業のDX活用戦略及びDX導入プランの作成と、その後のフォローアップとして別事業の「スマートファクトリー推進事業」との連携を図り、DX導入段階を伴奏支援することにより、計画段階から導入段階までのシームレスな支援を実施し、生産性向上に導く。

【波及効果の目標】

各事業の成果報告の公開・発信により、触発され自発的なIoT推進のムーブメントを引き起こす。
 ●IoT活用したモデルケースを創出し、IoT導入企業の裾野を拡大する。
 ●伴走する地元のITベンダー・Sierが、相互作用効果で機能拡大を図り、ビジネスとして個別展開化することにより、地元企業間の繋がりを構築し、IoT導入拡大につなげる。

【将来の支援目標】

ものづくり中小企業の「価値創造領域」のレイヤーへの到達を支援する。
 ● デジタルデータを活用した、企業変革や新たなビジネス展開
 ● 企業間連携やサプライチェーンの改革
 ● 受発注マッチング・受発注決済の効率化 等